



歯科衛生士パスポート+Web

〔全身疾患医療面接〕編

有病者への対応は、
歯科衛生士がキーになる時代に。

手帳サイズの書籍に
大事なことを。
必要な解説は、Webで。



(縦145mm×横85mm | フルカラー | 112ページ)

【監修】藤井一維 (日本歯科大学)

【編著】山口秀紀 (日本大学松戸歯学部)

定価：書籍本体+Web サービス=2,750円 (税別)

目次 (■=Webでも詳しく解説)

I 注意を要する全身疾患の医療面接

高血圧
狭心症・心筋梗塞
不整脈
脳卒中 (脳梗塞・脳出血)
糖尿病
甲状腺疾患 (機能亢進・低下)
ぜんそく
COPD (慢性閉塞性肺疾患)
肝炎
肝硬変
腎臓病
人工透析
消化性潰瘍 (胃潰瘍・十二指腸潰瘍)
骨粗しょう症
関節リウマチ
てんかん
うつ病
更年期障害
アレルギー
がん

Column 心臓ペースメーカを装着している

Column 歯科治療中に気分が悪くなったことがある

Column むせるようになった

II 注意を要する薬剤の医療面接

抗血栓薬
副腎皮質ホルモン製剤 (ステロイド剤)
BP製剤 (ビスフォスフォネート製剤)
免疫抑制剤

Column 血が止まりにくい/止まりにくかった

III こんな時のHELP!

HIV感染症への対応
妊婦・授乳婦への対応

生体モニタリング 生体情報モニター
自動血圧計
パルスオキシメータ

意識障害の評価 Webにも特別掲載
主要な臨床検査値

緊急時対応 血管迷走神経反射 (脳貧血様発作)

過換気症候群
アナフィラキシーショック

心肺蘇生法、AED
心肺機能評価

IV 歯科衛生士の視点からのアドバイス

歯科衛生士の医療面接のポイント

よりプロの歯科衛生士をめざすためのパスポート

プロの歯科衛生士として欠かせない全身疾患や薬剤、緊急時対応について簡潔にまとめました。もしもの時に、日々の知識向上に、いつもそばに置いていただき、より高いレベルの歯科衛生士をめざすためのパスポートのような一冊になれば幸いです。

山口秀紀

Book →

診療室で、ポイントを
さっと確認



Web →

詳しい内容をもっと確認

dhpass.com にアクセス!

- 1 どんな疾患か、どんな薬剤か
- 2 どんな治療がされているか
- 3 歯科治療時に注意すること
- 4 その他大事なポイント
- 5 参考になるオススメサイト



各種スマートフォン、
タブレット、PCに対応



休憩中に!
院内勉強会にも!

Webコード 101 高血圧

医療面接

- いつから高血圧といわれていますか?
- 定期的に通院していますか?
- 何かお薬は飲んでいますか? どのようなお薬ですか?
- 高血圧以外の病気はありますか?
- 普段の血圧はどれくらいですか?

医療面接

高血圧の基準

収縮期血圧 140 mmHg 以上
または 拡張期血圧 90 mmHg 以上

ワンポイント解説

- 原因が特定できない高血圧を本態性高血圧という。高血圧のほとんどを占める。
- 腎疾患など明らかな原因疾患がある場合を二次性高血圧という。医療面接のポイント
- 罹患期間が長くなると、心疾患や脳血管疾患などのリスクが高くなる。
- 未治療の高血圧、血圧のコントロールが不良な場合、他の合併症がある場合などでは歯科治療のリスクが高い。
- Ca拮抗薬の服用により、歯肉肥厚が生じることがある。
- 精神的ストレスや治療中の刺激に対して血圧が変動しやすいため、不安・緊張を和らげるよう心がける。
- 多剤服用や高齢者では起立性低血圧に注意。体位変換を緩徐に行う。
- アドレナリン含有局所麻酔薬の使用に注意する。

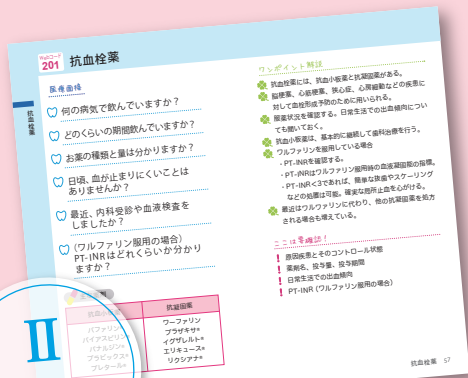
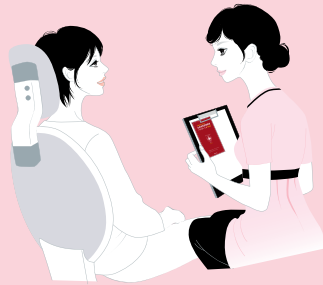
ここは要確認!

- 血圧コントロール状態
- 受診状況と治療内容
- 合併症、患者さん・歯科医師に必ず確認
- 内服薬・お薬手帳
- 血圧測定を行い、治療の指針とする

高血圧 9

I 全身疾患

医療面接に!



II 薬剤

書籍だけに
特別掲載

歯科衛生士が全身疾患
や服用中薬剤について
行う医療面接を簡潔に
ガイド。

また、患者さんの急変
時対応や、バイタルモ
ニターの見方など、有
病者対応に必須な基本
情報を網羅。



III HELP

発行

MEDIA メディア株式会社

http://www.media-inc.co.jp/

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目26-6 NREG 本郷三丁目ビル8F TEL 03-5684-2510(代) FAX 03-5684-2516